第 4 講　律令体制の衰退
PART 2 平安仏教と平安前期の文化

Chapter 1　平安仏教

目標
天台宗と真言宗の大きな違いを知ろう。
日本で神仏習合が進んだのはなぜだろう？

1　平安仏教

①奈良仏教〔南都六宗〕との相違

A　信仰を中心とした**一宗派の独立**

B　理論・学問面中心の**顕教**に対し

実践面中心の〔1　　　　〕的傾向が強い

鎮護国家や**現世利益**を求め**加持祈禱**などを行う。

C　山岳仏教の性格が強い

のち日本古来の山岳崇拝と結合し〔2　　　　　〕の源流となる。

※山岳崇拝は飛鳥時代の役小角〔役行者〕に始まる。

最澄

②〔3　　　　　〕

A　開祖

〔4　　　　〕**〔伝教大師〕**（近江国出身）

804 年，遣唐使に従い入唐し翌年帰国。著書は『山家学生式』『顕戒論』。

B　中心寺院

比叡山〔5　　　　　〕**（近江国）**

C　特色

法華経を中心とする**総合宗派**。南都六宗からの独立を目指し，

新たな大乗戒壇設立を主張して対立。最澄の死の直後に認められる。

D　最澄の弟子たちによる密教化

入唐した**円仁**〔慈覚大師〕と**円珍**〔智証大師〕により密教化（＝**台密**）し，

教団の基礎が確立。

※彼らの死後かなり経った 10 世紀末,

比叡山を下りた円珍の門流が**園城寺〔三井寺〕**を拠点とする。結果,

山門派（延暦寺の円仁派）と**寺門派（園城寺の円珍派）**に分裂し対立を深めた。

③〔6 〕

空海

A 開祖

〔7 〕**〔弘法大師〕**（讃岐国出身）

804 年，遣唐使に従い入唐し 2 年後に帰国。

著書は『三教指帰』『十住新論』。

B 中心寺院

高野山金剛峯寺（紀伊国），

教王護国寺〔東寺〕（山城国→嵯峨天皇に賜る）

C 特色

神秘的な秘法により**大日如来**と合一（＝即身成仏）できると説く**密教**。

南都六宗と友好を保ち，皇族・貴族の支持を受けて密教の流行をもたらす（＝**東密**）。

高野山金剛峯寺

2 神祇信仰の発達と神仏習合の流行

①御霊信仰の発生

怨霊（＝非業の死を遂げた人物の霊）を祀る〔8 〕が行われる。

②奈良時代からの〔9 〕が流行

神宮寺の建立，鎮守神の崇拝，神前読経など，神祇信仰と仏教との融合がさらに進む。

まとめ

天台宗は法華経を中心とする総合宗派で，真言宗は密教である。

日本の八百万神を祀る神祇信仰は，如来・菩薩・明王・天などを

異国の神々として受け容れたので，神仏習合が進んだ。

Chapter２　弘仁・貞観文化

目標　平安仏教で自由な伽藍配置と一木造の仏像が一般化したのはなぜだろう？
菅原道真らが平安時代前期に出世したのはなぜだろう？

1　寺院建築・仏像彫刻・絵画

平安時代前期の〔1　　　　　　　〕**文化**では，
唐から新たに持ち込まれた密教の影響が強く，**暗く神秘的なイメージ**の**密教芸術**が栄えた。
※遣唐使を通じた晩唐文化の影響も強いが，国風化の芽生えも見られる。

①寺院建築→自由な伽藍配置
　A　**室生寺金堂（大和国）**
　B　**室生寺五重塔**

②彫刻→〔2　　　　　〕が主流で衣文は力強い**翻波式**を採用
　A　室生寺金堂釈迦如来像
　B　室生寺弥勒堂釈迦如来像
　C　元興寺薬師如来像（大和国）
　D　神護寺薬師如来像（山城国）
　E　法華寺十一面観音像（大和国）
　F　**観心寺**〔3　　　　　　　〕**像（河内国）**
　G　**教王護国寺講堂不動明王像（山城国）**
　H　**薬師寺**〔4　　　　　　　〕**像（大和国）**→神仏習合を示す好例

観心寺如意輪観音像

③絵画
　A　〔5　　　　　〕→密教の金剛界・胎蔵界を図化
　　あ　神護寺両界曼荼羅
　　い　**教王護国寺両界曼荼羅**
　B　**不動明王像**→大日如来の化身　園城寺不動明王像〔黄不動〕など。

2　書道・文芸・教育

①書道
　嵯峨天皇・空海・橘逸勢の唐風書道３名手は，のちに〔6　　　　〕と称された。
　※〔7　　　　　〕は，絶縁以前に**空海**が最澄にあてた手紙。

②文芸

上級貴族の教養として，漢文学・歴史学習（＝**紀伝道**）が流行。

文芸を中心に国家の隆盛を目指す〔8　　　　　　　　〕**思想**の下で，

重要な出世の手段にもなった。

A　**勅撰漢詩集**

〔9　　　　　　　〕，**文華秀麗集**（ともに嵯峨天皇），**経国集**（淳和天皇）の３つ。

B　漢詩集

性霊集（空海），菅家文草・菅家後集（菅原道真）

C　漢詩論

文鏡秘府論（空海）→日本最古の詩論

D　説話集

日本霊異記（景戒）→日本最古の仏教説話集

E　日記

入唐求法巡礼行記（円仁）→ 838 年の遣唐使で渡海

F　氏族系譜書

新撰姓氏録（万多親王）→嵯峨天皇の命で畿内 1182 氏の系譜を３つに分類

G　歴史書

類聚国史（菅原道真）→完成した六国史の記事を分類

H　**仮名**の登場

万葉仮名の草書体である草仮名を簡略化した〔10　　　　　　〕や，

漢字（＝真名）の一部分をとった〔11　　　　　　〕が用いられ始めた。

③教育

A　〔12　　　　　　　　　〕→大学付属の一族専用寄宿舎・図書館

弘文院（和気氏），**勧学院**（**藤原氏**，冬嗣〔北家〕が設立），

学館院（橘氏），奨学院（在原氏など）。

B　庶民教育　**綜芸種智院（空海）**

※初めて庶民に儒教・仏教・道教を教えたが，空海の死後に廃絶した。

まとめ

平安仏教は山岳仏教のため，自由な伽藍配置と一木造の仏像が見られる。

平安時代前期には紀伝道が重視されたため，菅原道真は大出世した。

第 4 講　PART 2　確認問題

1 平安仏教が日本古来の山岳崇拝と結びつき，その源流となったのはどれか。

① 修験道　② 顕教
③ 神仏習合　④ 御霊信仰

2 804 年に入唐し，伝教大師と呼ばれたのはだれか。

① 円珍　② 円仁
③ 最澄　④ 空海

3 円珍の門流が拠点とした寺院はどれか。

① 延暦寺　② 東寺
③ 金剛峯寺　④ 園城寺

4 空海が嵯峨天皇から賜った寺院はどれか。

① 三井寺　② 教王護国寺
③ 室生寺　④ 神宮寺

5 弘仁・貞観文化を代表する，河内国の観心寺に祀られている像はどれか。

① 不動明王像　② 僧形八幡神像
③ 十一面観音像　④ 如意輪観音像

6 弘仁・貞観期の唐風書道３名手に**あてはまらないの**はだれか。

① 小野道風　② 空海
③ 橘逸勢　④ 嵯峨天皇

7 淳和天皇の命でつくられた勅撰漢詩集はどれか。

① 文華秀麗集　② 凌雲集
③ 経国集　④ 性霊集

8 大学別曹とその設置氏族の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 学館院－橘氏　② 弘文院－藤原氏
③ 奨学院－和気氏　④ 勧学院－在原氏

第 4 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：①　山岳崇拝は飛鳥時代の役小角〔役行者〕に始まった。

2 解答：③　①の**円珍**と②の**円仁**は最澄の弟子で，それぞれ智証大師，慈覚大師と呼ばれた。④の**空海**は弘法大師と呼ばれた。

3 解答：④　円仁と円珍の死後の 10 世紀末，**山門派**（延暦寺の円仁派）と**寺門派**（園城寺の円珍派）に分裂し対立を深めた。

4 解答：②　東寺は**教王護国寺**とも呼ばれ，山城国にある。

5 解答：④　①の不動明王像は山城国の**教王護国寺講堂不動明王像**，②の僧形八幡神像は大和国の**薬師寺僧形八幡神像**，③十一面観音像は大和国の法華寺十一面観音像が代表例。

6 解答：①　唐風書道 3 名手は，**嵯峨天皇**，**空海**，**橘逸勢**で，のちに**三筆**と称された。

7 解答：③　①の**文華秀麗集**と②の凌雲集は嵯峨天皇による勅撰漢詩集，④の**性霊集**は空海の漢詩集。

8 解答：①　②の弘文院は和気氏，③の奨学院は在原氏，④の**勧学院**は**藤原氏**が設置した**大学別曹**である。